

## 質 問 書

※ この MS-WORD 文書のまま送付をお願いいたします。(PDF 等のフォーマットへ変換しないでください。)

2020 年 11 月 26 日

「フィリピン国パラニャーケ放水路整備事業準備調査【有償勘定技術支援】(QCBS)」(公示日:2020 年 11 月 4 日/調達管理番号:20a00207 )  
について、以下のとおり質問します。

シェード部分は11月13日回答済みです。

通番号	当該頁項目	質問	回答
1	37 頁 2.(2)1)	業務量の目途約 63 人月(M/M)とありますが、 想定の現地調査 M/M・国内作業 M/Mがござい ましたら、ご教示お願いいたします。	業務量の内訳につきましては、現地調査 30M/M・ 国内作業 33M/M を想定しています。 ただし、この M/M は 2 月から現地渡航を行う想定 で設定しているため、コロナ禍の影響が長引いた場 合には、状況に応じて現地スタッフの活用やオンラ イン会議による業務遂行により、国内作業 M/M の 比重が大きくなる可能性があります。
2	39 頁 5.(6)	機材費の見積計上について確認させてくださ い。 執務室に関連する資機材と業務に使用する機 材が明確に分ける事が出来ないため、資機材 についても別見積での計上でよろしいでしょ うか。	38 頁 2.(4)に、借上げ執務室を別見積もりに含める よう指示しておりますが、借上げ執務室に含まれる 機材と、39 頁 5.(6)にて指示している業務実施上必 要な機材とを明確に分けることができないために、 業務実施上必要な機材を別見積にすることの可否 についてご質問されているものとして回答します。 借上げ執務室に備え付けられている機材について は別見積もりとし、それ以外の業務実施上必要な機 材については機材費に計上してください。 仮に、上記が質問の趣旨と異なる場合には、再度ご 質問願います。

以 上

